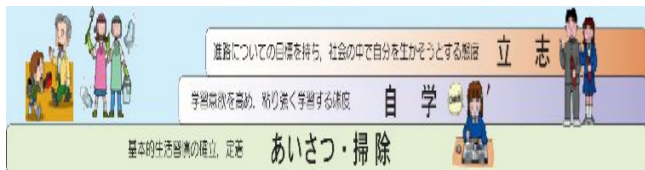


公教育の福岡モデルを基軸とした赤坂らしい教育の創造

平成22年度 福岡市立赤坂小学校

(1) 福岡スタンダード「あいさつ・掃除、自学、立志」

内容



■赤坂スタンダード

・週末の帰りの会で、1週間の振り返りをし、課題を出し合う。
・掃除プロ認定証・ホスタ階級賞

■「ホスタ」の実践

・全教室全面に掲示して、日常的に子どもに話し、学習スタイルを意識させ、組織的に取り組む。

あいさつ

～人とかかわり～

【期待される効果】
・明るい笑顔、聞かれた心
・人間関係形成力
・コミュニケーション能力

・あいさつ運動(全学年)
・あいさつボランティア運動(高学年)
・あいさつキャンペーン(6年)
・教室に入る前にあいさつする(3・5年)

掃除

～社会や環境とかかわり～

【期待される効果】
・他者の役に立つ喜び
・責任や義務を果たす心
・協調性や自律心

・ピカピカそうじ(全学年)
・赤坂ゴミゼロ大作戦(4年)
・下水道の旅をしてみよう(6年)
・今週のトップ賞(6年)
・校外美化活動(全学年)

自学

～自分とかかわり～

【期待される効果】
・家庭学習の習慣
・根気、集中力、忍耐力
・読書の定着

・家庭学習のきまり(全学年)
・自主学習メニュー(全学年)
・自己評価カード・朝読書(全学年)
・今週のがんばり賞の発行(6年)

立志

～将来とかかわり～

【期待される効果】
・家族への感謝
・自立心、夢や目標づくり
・社会への貢献

・将来の夢・心のノート(全学年)
・2分の1成人式・同窓会入会式・お別れ集会
・人物の生き方に学ぶ学習単元(3～6年)
・ようこそ赤坂小へ(入学式)(6年)

・規範意識や自尊感情の高まり・他者とのつながり、社会的関係への気づき、自分や他の人を大切にできる心の高揚

聴き合い活動とポートフォリオ評価

(2) ことばを大切にできる教育

内容

言語文化の環境づくり

【「音読・朗読ハンドブック」の活用】
◇学力の基盤となる国語の能力を育成するために、毎朝「かがやき」タイムを行う。

・朝8:30からの「かがやき」タイム(全学年)
・全校朝会音読披露タイム(全学年)
・音読・朗読検定(全学年)
・5分休憩音読(高学年)
・「かがやき」の多様な読ませ方の工夫(3年)
・音読発表「かがやき」コンテスト(6年)

言語活動の充実

【「言語活動指導の手引き」の活用】
◇「言語活動指導の手引き」を活用し、聴き合い活動を通して「ことばの力」(思考力・判断力・表現力等)を高める。

・「聴き合い活動の手引き」(全学年)
・1時間の授業の中に「書く」活動を取り入れる(全学年)
・1時間の授業の中に、視写・聴写を取り入れる(全学年)
・スピーチ大会(6年)

「よさ」を広く認める場づくり

【作品の「よさ」を広く認める場づくり】
◇考えを表したフリップやポートフォリオ、読書紹介など、言葉や考えに関わる作品の「よさ」を認める聴き合いの場を充実する。

・自己評価、他者評価、相互評価の場づくり
・ポートフォリオ交流会(全学年)
・作品に対して、言葉でよさを伝える(全学年)
・昼休み学習相談室(6年)
・夏休み作品展

読書活動の充実

【子ども読書活動の推進】
◇朝の読書や読み聞かせ・お話し会、ブックトークなど、読書を通じた心の育成に努める。

・読書ボランティア読み聞かせ(1～4年)
・貝田先生お話し会(全学年)
・読書ボランティアお話し会(1～3年)
・6年生ボランティアお話し会(6年)
・ブックトーク(全学年)・スピーチ大会(6年)
・マップを活用した読書カード(3～6年)
・読書チャンピオン(6年)

メディアリテラシーの育成

【情報モラル教育の推進】
◇情報や情報機器の正しい使い方や危険性について理解し、適切に活用できるようにするための学習活動(高学年はデジタルポートフォリオ作り)や防犯教室を充実する。

・携帯電話、パソコンメールについての防犯教室(全学年)
・デジタルポートフォリオづくり(高学年)
・情報ネットワークの活用(5年)
・新聞社見学(5年)
・パソコンでガイドマップを作ろう(6年)

小学校外国語活動支援

【市小学校外国語活動支援事業の推進】
◇文部科学省作成「英語ノート」を位置づけた福岡市の「指導事例集」を活用し、英語活動(1～4年赤坂タイム)外国語活動(5・6年)に計画的に取り組む。
※12月3日:Bタイプ授業公開

・子ども会議の大使と国際交流会を開こう(全学年)
・留学生やスアレアリアの人(スリランカ)に学ぶ(6年)
・英語ノートを活かした電子黒板の活用(高学年)
・ALT、英語ボランティアの活用
・福岡金山パンフレットの活用(6年)
・国際理解派遣事業(中国・韓国)(6年)

(3) 子どもの力を引き出し発揮させる教育

内容

楽しい・わかる・魅力ある授業づくり・活動づくり

【テーマ研究の充実】

◇「確かに考え、豊かに学ぶ子どもの育成」(研究主題)のために基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用を重視した問題解決的な学習を充実する。聴き合い活動やポートフォリオ評価を中核に据えた教育課程を作成・実施する。

・聴き合い活動とポートフォリオ評価を中心とした学習指導(全学年)
＜4段階のあ・か・さ・か学習 短期、中期ポートフォリオ＞
・基礎基本の習得と活用を大事にした学習指導(全学年)
・福岡城・鴻臚館・博多町割・フクロウの森・けやき通り・校区のお店など地域素材を大切に教材開発(全学年)
・人物とのつながりを大切に教材開発(全学年)

【指導方法や指導体制の工夫改善】

◇問題解決学習の中で「教えることと学ぶことを区別する」、聴き合い活動やポートフォリオ作成を通して「考えを書くことを大切に」「まとめとふりかえりを徹底する」という三つのポイントを踏まえた授業改善を徹底する。個別指導やグループ別指導、理解の状況に応じた繰り返し指導、習熟の程度に応じた指導など、多様な指導方法を取り入れる。

・個別指導やグループ別指導、理解の状況に応じた繰り返し指導、習熟の程度に応じた指導

【学力パワーアップ総合推進事業】

◇学力実態調査で把握した課題を克服するために、赤坂小の課題を踏まえた実効性のある学力向上推進プランを策定し、学力向上の取り組みをする。実態に応じ、チームティーチング、合同授業、交換授業、専科指導など、学習形態を工夫した授業を行う。HPで実態と取り組みを公開する。

・学力実態調査の答え合わせと解説
・事後アンケートとそれと合わせた授業改善
・チームティーチング、合同授業、交換授業、理科専科指導
・ホームページで情報公開

【一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援の充実】

◇「障がい等のある児童の自立と社会参加」を促進するために校内支援体制を整備し、発達や学び方の違いに応じた多様な学習内容や方法を展開する。・さくら学級 他

・操作学習や繰り返し学習の重視
・コミュニケーション能力を高める場面設定
・実態に応じた教材、教具の使用
・交流学級、さくら学級との交流
・人権尊重作品応募(ポスター、標語)
・ぬくもり、心のノート、はらっぱの活用

(4) 小中連携教育

方法

発達段階区分でとらえた指導

三校共通テーマ：言葉の力の育成

【学習や生活の基盤づくり】幼・小1～4
◇学習規律や基礎的・基本的な知識・技能、あいさつ・掃除等の基本的な生活習慣を確実に習得し定着する。

・赤坂幼稚園との交流(ミニなかよし・園児参加のなかよし)
・学習の基本スタイルの徹底定着(赤坂学習スタイルの全教室掲示)

【小・中学校の滑らかな接続】小5～中1
◇学習や生活で身につけたことを活用することを重視し、中学校へのスムーズな接続を図る。
小5～中1の接続を重視した取り組み

・聴き取りメモマップのスキル
・目標90分の家庭学習(6年)
・中学校につながる発展的な学習
・中学校出前授業・中学校体験入学

【9年間を見通した学習指導】

◇4年(小1～4)・3年(小5～中1)・2年(中2・3)の発達段階区分に応じた、思考力、判断力、表現力を育成や規律ある学び方指導の積み上げをする。(テーマとの関連)

・かわる力から考える力へ
・地域に親しみ、地域のよさを見つける、地域の課題に取り組む
・言葉の力の段階的な育成

【心の教育の充実・適応指導の充実】

◇発達段階区分における心理的特質を踏まえ、警固中ブロック共通アンケート集約をもとに、自分を大切にすることも他人を大切にできる心や規範意識、向上心の育成に努める。

・学校生活アンケートの同一日実施
・三校研究授業参観、人権学習参観交流
・広げよう人権の輪(高学年)
・心のオルゴール作文(3年)
・心のオルゴール作文と啓発放送(6年)

【体力の向上】

◇体育の授業やなかよし・わんぱくタイムの充実、子どもが自ら外遊びを行う取り組み(体育委員会)を進める。また、「新体力テスト」の全学年実施とともに、集計ソフトを活用し一人ひとりの体力実態と課題の結果を保護者へ伝える。

・なかよしタイム・わんぱくタイム
・持久走記録会(全学年)・食育の計画的な実施
・チャレンジスポーツ集会(全学年)
・体力向上スポーツイベント(全学年)
・クラスマッチ(高学年)・スクラムタイム(6年)

【キャリア教育の充実】 ※

◇明確な目的意識を持って日々の学習に取り組ませ主体的に自己の進路を選択・決定していく力、しっかりとした勤労観や職業観を育てる。

・1/2成人式(4年)・同窓会入会式(6年)・感謝の会(6年)・赤坂のすてきなお店(2年)
・各産業で働く人々＜自動車工場見学＞(5年)
・能楽体験(6年)・裁判所体験学習(6年)
・青年海外協力隊(6年)・心の劇場(6年)

(5) 家庭・地域・企業等と連携した教育活動

方法

福岡スタンダードの推進を中心とした「共育」の推進

【HPでの啓発と公開】

◇ホームページの充実とお便り等での啓発を推進する。

・赤坂環境プロジェクト(4年及び5・6年環境委員会)
・赤坂元気プロジェクト(4年)
・赤坂のステキな人・ステキなお店を見つけよう!(2年)
・空襲体験談・グランドゴルフ交流・赤坂夏まつり
・どんと焼き・もちつき会・美化ピカ作戦

【学校公開週間推進事業】

◇「地域と連携し聞かれた学校づくりの推進」を図り、保護者や地域住民に対して、学校教育説明会を行い学校教育への理解と啓発を図る。
・赤坂スタンダードDVD

【学校と家庭、地域の連携を深める活動の推進】

◇総合的な学習や特色ある教育の推進、小学校外国語活動等でのゲストティーチャー、英語ボランティア、図書ボランティア、花ボランティア、スクールガード(学校安全ボランティア)夜間パトロールなど、教育力を学校教育に反映させる取り組みを推進する。

【学校・企業等協力者会議】

◇職場体験学習の受け入れ先や社会人講師の人材の確保等、企業、大学、NPO等の教育力を学校教育に生かす。
・循環生活研究所・新日本製薬(カンボジア基金、図書館ニュース)・ライオンズクラブ 他

体験活動や特別活動等の活性化

【豊かな社会体験や自然体験の促進】
◇通常の学校生活では得がたい体験、集団宿泊生活等を通して協力、責任、奉仕などの精神を涵養し、心身ともに調和のとれた児童の健全育成を図る豊かな社会体験や自然体験を行う。
・自然教室・鍛錬遠足 等

・長崎市内フィールドワーク(6年)
・お年寄りのお釜のご飯炊き(4年)
・モリノ栽培(高学年)
・環境ミュージアム体験学習(5年)

【自主的活動の促進と自治的能力の伸長】
◇望ましい人間関係・協調性・責任感・よりよい学校を築こうとする活動や能力の育成を促進する。
・児童会活動・クラブ活動 等

・全校スローガンの設定
・こころ温まる人権の話＜放送＞(6年)
・朝活ボランティア(高学年)